



THE Y'S MEN'S CLUB OF

NARA

奈良ワイズメンズクラブ

CHARTERD SEP. 14th 1950

C/O NARA YMCA, 2 Saidaji Kunimicho, NARA JAPAN

Phone No. 0742-44-2207 URL: <http://uchidakaikai.com/narawaizu/index.htm>

3月号

国際会長主題：『Go Ye All The World (全ての世界に出て行こう)』 国際会長 Poul V. Thomsen

アジア会長主題：『Start Future Now (未来を始めよう、今すぐに)』 アジア会長 岡野 泰和

西日本区主題：『Attend club meeting with a clear motive to make the most of them

(志を持って例会に参加し、学びの機会をもちましよう。)] 西日本区理事 高瀬 稔彦

阪和部主題：『Youth & Action (若さと行動 今こそ行動するとき)』 阪和部長 飯沼 眞

クラブ会長標語：『Go Back to Y'sdom (ワイズダム原点回帰)』 奈良クラブ会長 高橋 辰夫

3月例会

とき 2014年3月10日(月) 19:00~21:00

ところ ピカピカ

プログラム

司会：濱田 勉

1. 奈良クラブの歌

2. 開会点鐘

3. ワイズソング

4. 聖書・祈祷

5. ゲスト・ビジター紹介

6. 誕生日・結婚祝い

7. 食前感謝・晚餐

9. 卓話 「空家問題の現状」

特定非営利活動法人 高井 亮吉

10. アピール、諸報告

11. YMCAの歌

12. 閉会点鐘

閉会

[月間テーマ]

EF・JWF

[今月の聖句]

「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。
たじろぐな、わたしはあなたの神。
勢いを与えてあなたを助け、わたしの救いの右の手で
あなたを支える。」

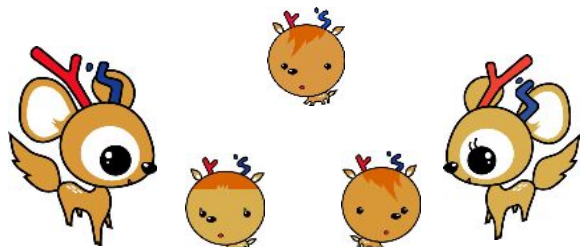
イザヤ書41章10節

日本基督教団奈良教会牧師 栗原宏介

3月は卒業シーズンです。先日、私は同志社を卒業しこの4月から牧師として旅立つ7名の青年たちの壮行会に出席しました。同志社の校風もあると思いますが、諸先輩方のユーモアに富んだ励ましに私もいつも励まされています(励ます側として出席しているのですが...)。そこで久しぶりに威勢のいい言葉を聞きました。「奮い立て！同志社！！」ある信徒さんがその教会の牧師に、ぜひ旅立つ若者に伝えてほしいと託した言葉でした。壮行会ならではの言葉なのだと思いますが、新卒者のみならず...というよりも、その場にいた牧師たちの方こそ、その言葉が心に響いたようでした。もちろん私もです。同志社に関わる人々の会でしたから「同志社！！」となったわけですが、ここには様々なワードが当てはまるのだと思います。「奮い立て！キリスト者！！」や「奮い立て！YMCA！！」などなど。困難な課題が私たち個人にも、また社会にも世界にもたくさんあります。そうした世の荒波の中で「奮い立て！」というエールは非常意義深いと思います。そしてこの「奮い立つ」ということの土台に預言者イザヤの示した共なる神がいてくださることを忘れず歩みたいと思います。

2014年2月クラブ統計

在籍会員 25名	出席率	算出分母 24名	出席数 14名
メン 14名	メーキャップ 0名	メネット 7名	功労会員 1名
ゲスト 2名	ビジター 5名	コメント 0名	/ 出席率 58.3%



ニコニコ献金

2月度 9,596円・累計 1,014,818円

会長 高橋 辰夫

“ときめき”

松田 重子

少しづつ気候も暖かくなりすこしづつ活動しやすい季節が近づいていることが感じられます。先日、出張でシドニーに行って参りました。南半球のオーストラリアは今夏で半袖でも十分に過ごせる気候でした。街を見ていると平日の昼間からテラスでビールを飲んでいる会社員の人達が多かったです。会社のビジネスアワーであってもお昼休憩も1時間と限らず2時くらいまで同僚と一杯呑みながら談笑しています。コミュニケーションが仕事同等に大切と考えているようです。私は今から26年前にオーストラリアで1年間暮らしておりまして、その頃も現地の労働者はお昼の休憩はきっかり1時間で会社に戻らずビジネス街のサラリーマン達でさえも昼食休憩時にビールを飲んでいました。もちろん会社公認でそのような事がまかり通っているわけではなくうまくごまかしながらみんながやってるのか？またはビジネスの交渉相手と商談する際にビールを飲んでいるのか、色んな事情は有るのかもかもしれませんが、日本人の私たちからしたら「ありえない」「信じられない」事です。オーストラリア人にとってビールは水と同等の位置付けでも言いましょうか？現地で暮らしていた当時、現地で某日系大手旅行社でツアーガイドの仕事をしていましたが、その時も昼の12時から2時くらいまではビジネスアワーに関わらず呑んでいて事務所に誰もいない状態が何度も有りまして。。そういう国民性からか、日本の様にバーや居酒屋などは夜の営業がほとんどですが、オーストラリアではほとんどのお店が昼間から開店しています。そして平日昼間からビールを飲みながらコミュニケーションを楽しむ老若男女がいます。今も変わらぬ街の様子を見て、昔に想いを馳せていました。脱線したので本題に戻って、ワイズメンズクラブの活動の醍醐味について、先月までのプリテンではワイズライフを長く過ごしていると自己研鑽や有益な経験が得られると書いてきました。各々のワイズメンズクラブでの経験によって人生観や新たに身に着く能力も有ると思います。常に行動している人は常に変化成長し続ける事だと思っています。その能力(タレント)を活かすために、みんなで活動している私達は各々のタレントを知っておく必要があると思います。お互いの能力を熟知したうえで、お互いに協力し高め合える。また、その共働で得た達成感が「ワイズダムを楽しむ」「友と共にワイズライフを謳歌する」ことに繋がるのではないかと考えています。会員の年齢の構成が逆三角形のクラブでどのように高め合うのか？は非常に難しい命題かも知れません。しかしその命題をクリアできれば、会員増強も困難では無い事に思えます。すぐ観念的な表現で分かりづらい文章でスママセン。オーストラリアのサラリーマンを見て思った事は、サラリーマン達が昼間から酒を楽しんでいるのでは無く、相手の生活や能力や性格やその他相手の事をもっともっと多く知ってもっと相手の気持ちに入り込みたい。これがコミュニケーションの真髄で、それを持ってお互いの力を大きくしていく。このサイクルをワイズメンズクラブに取り入れられたらもっとワイズダムを楽しめる人が増えるのだらうと思います。皆さんが自分なりのワイズダムをご友人に伝えて、共に学び持たれる事を切に祈ります。

春のいづきを感じる1月31日メネットの新年会を佐藤特別メネットのセカンドハウスでさせて頂きました。ファンにするモズクの袋つめをしながら、お茶やお食事を頂きながら、おしゃべりに花が咲き、楽しいひと時を、時間の経つのも忘れるくらいでした。佐藤さんからは、毎年布で作った干支の置物を今年は馬の置物を、いただきました。私たちメネット、のほかに郵便局や施設等にもプレゼントをされています。お元気の秘訣はこんなところにもあるのでしょうか

2月28日に「奈良苑」で行う予定の喫茶のどかを職員にインフルエンザが出ましたので、中止にさせていただきます。いつもメネットさんのご協力で利用者様が毎回楽しみにされていますが、感染されてもいけませんので、今回は残念ですが中止とさせていただきます。感謝申し上げます。皆様お互いに健康に注意しましょうね。

先日、10年くらい前の元ワイズのメンバーから電話がありまして、何かお話を聞かせていただけませんか、駅へ迎えに行く約束をし車で待っていると、変なんです。なんとなく初めて同窓会に行くような、恋人を待っているような、わくわく、そわそわのときめきを感じ、たとえ少しの間でも一緒にワイズで活動をした仲間とお会いする親密感があったこと、2、3時間話している中でなにか役に立つことがあれば良いのと思っています。

2月例会報告

三枝 隆

開催日:2月10日(月)19:00~21:00

場所:PICAPICA

2月例会の卓話は、日本尊厳死協会関西支部理事である竹内奉正様に『笑って大往生するために - 平穩死・尊厳死のすすめ -』のテーマで進めていただきました。そのご提案としては『人は、出生については意思が働かないが、最後の迎え方は自分で考えようではありませんか！・・元気な間に』そしてその考えはあのマザー・テレサによれば『人生の90%が不幸であったとしても、最期の1%が幸せならば、その人の人生は幸せなものにも変わる』と語られたように今回のテーマは当日参加したワイズメンが個々に大変興味深くさらに自分の家族そして自分自身の問題としてその卓話に耳を傾けていました。また人生50年時代から人生100年へ変わり高齢者変容に伴いそのアクティブシニア像は実年齢より20%若い精神年齢であることや、寿命が延びてきた要因、団塊の世代が後期高齢者の2025年度に突入するその死亡者数110万(2010年)がそのピークを迎える2025年~35年には170万と増えまさしく“多死時代”が到来することの現状を踏まえ『死ぬ時に後悔しない心構え』や、

> 2月例会報告続き

地域の中で平穏死できる為の4つの視点(本人の問題、家族の問題、病院の問題、地域の問題)は大変興味深く拝聴しました。またキーワード「在宅療養・自宅は最高の特別室！」そのことは何か心に残りました。

しかしながら終末期医療・看取り場所・平穏死(自然死・尊厳死)にはまだまだその現状には多くの課題があることも知ることができました。この卓話で改めて“死”という人間が誰もがいつか直面する問題に対して今回のメインテーマである『笑って大往生するために』はその誰もが望むことだと思います。やはり“笑い”はどんな場面でも人を豊かに、家族を明るくします。今回のテーマはワイズメンにとっても大変意義のあるお話を伺うことができました。

ワイズコラム

< 帰郷した釣鐘 >

佐々木 みどり

奈良市二名(にみょう)町は、市西郊を南に流れる富雄川の上流にある。メネット会が年に4回お手伝いに行く養護老人ホーム「奈良苑」がある所だ。富雄川の川幅は昭和50年頃の改修まで、今の半分もなかった。山から渓流が流れ落ちた所々に、水車がコットンコットンと廻っていた。この谷でとれた「富雄米」は良質な酒米として有名であった。右岸の丘にある「奈良苑」の麓から下流へ二つ目の橋の向かいに大きなお寺がある。融通念仏宗法融寺である。ある時、毎日正午になるとお寺の鐘が周囲に鳴り渡ることを知った。電気仕掛けで撞木が動くようになっている。釣鐘は江戸時代中期の享保の銘が刻まれている。

太平洋戦争中、二名村のこの大事な梵鐘が供出されることになった。人々は別離の会を開いて別れを惜しんだ。ところが戦後、大和の19ヶ寺の釣鐘が広島県に残っていることが判り、両県知事の話合いの結果、奈良県に送り返されることになった。法融寺に戻った鐘をよく見ると、成分調査で開けられた穴が縦に7つ並んでいて、音はサッパリ出なくなっていた。そこで村の鍛冶屋の手で穴が詰められ、ようやくもとの響きを取り戻すことができた。今大晦日の夜だけ檀家や近隣の人たちが自由につくことができる。

5～6年前に改築された本堂は天井が高く広々としてとても明るい。障壁画、襖絵、欄間の絵などは、先代住職の弟御が日本画家なので、自ら仏様や天女などを描かれた。現住職の嫁御がお寺で子供達に習字を教えておられる。仏様や天女たちは鐘の音とともに、子供達の賑やかな声を聞いて喜んでおられるようである。先代の金森美顕師のお話からそう思った。

事業について

YMCAサービス・ユース

- ・奈良YMCAリーダー研究生 卒式(3月16日)
- ・国際ユースコンボケーションインド 8月4～10日
- 奈良YMCA トムソーヤクラブ 松本 紗栄L 推薦

交流

- ・DBC交流 御殿場クラブ 3月12日～13日来奈
- ・IBC交流 台南クラブ 交流委員長 テイクウイ氏 来日

ファンド

- ・西日本区ファンド報告締切 3月15日

EMC

- ・会員増強の為の広報活動 プリテンコラム記事掲載

地域奉仕

- ・CS,TOF,FF,RBM,東日本震災、フィリピン災害支援献金
- ・阪和部主催東日本大震災復興支援フォーラムにて奈良クラブとYMCAの活動報告

メネット事業

2月12日(水) 区のメネット事業(国内プロジェクト)に追加支援として2万円送金しました。

3月10日(月) 例会前に4時30分から長崎へ送る千羽鶴を折ります。YMCAクラブA野教室です。

3月28日(金) メネット会の千羽鶴の整理は10日の様子を見て決めたいと思います。

役員会報告

YMCAだより

日時: 2014年2月24日(月) 19:00~21:00

三枝 隆

場所: YMCAチャペル

議題

1. 3月例会 3月10日(月) PICAPICA 19:00~21:00

卓話 「奈良県の空き家問題の現状」

講師 特定非営利活動法人 高井 亮吉 様

司会: 濱田 勉メン

2. 3月役員会 3月24日(月)YMCAチャペル19:00~

3. 4月例会 4月14日(月) PICAPICA 19:00~21:00

講師 奈良クラブ 直前会長 胎中 廉啓様

4. 東日本大震災復興支援フォーラム 阪和部主催

3月16日(日) 14:00~16:00 大阪南YMCA

5. 「Y・Yフォーラム」 阪和部主催

4月12日(土)14:00~ 大阪南YMCA

6. 区新設ファンド Y's Extention Suport (YES)と

コースコンボケーション基金について

YESは継続ファンドになります。Yサ・コース献金は

今年度から2000円に変更になり増額された500

円はコースコンボケーション参加の補助金に充当

されます。区ファンド目標の総額は据置されてま

す。

7. 西日本区 次々期国際・交流主任に、奈良クラブより

中井信一メンを輩出します。

8. DBC交流 御殿場クラブ 3月12日~13日来奈

交流を行います。

IBC交流 台南クラブ 交流委員長のテイ ユウイ氏、

交流。緊急なお誘いの為に会長のみで大阪で行いまし

9. 第17回西日本区大会 3月例会でクラブ単位で受け

~ Happy Birthday ~

29日 濱田 勉

~ Wedding Anniversary ~

2日 松田 未作・重子 18日 辻野 啓一・もと子

日本列島に冬将軍が到来！雪害により多くの被害を生じ今尚その復興へむけて取り組んでおられる人々のお身体と心の安息日がお訪れることを強く願っています。

この一年間公益財団法人として新たな歩みをお支えいただき感謝いたします。次年度も多くの皆様に愛されるYMCAとなるよう力を注いで参ります。今後ともご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

『2013年度のご支援に感謝！』

公益財団法人元年となりましたこの年度に多くのご支援は勿論のこと次世代を担うYMCAユースリーダーに寄り添っていただき深く感謝申し上げます。今年度は、“アジアユースコンボケーション・INフィリピン派遣支援”・“全国リーダー研修会・IN京都”・“卒Y生記念盾寄贈”など多くのご支援を賜りありがとうございました。“第2回奈良YMCAチャリティーラン”では昨年を上回る多くの支援金と内田実行委員長の強いリーダーシップのもと林メン、濱田メン、胎中メン、中井メンを中心に行政、企業、団体などへ積極的なアプローチと同様に大会運営をお支えいただきました奈良クラブ・メネット会の皆様、飯沼部長・鈴木Yサービス主査様ならびに阪和部の皆様本当にありがとうございました。また“第2回東日本震災ワーク”では派遣リーダー支援と現地に一緒に帯同いただきユースリーダーと共にその復興のためのお働きに感謝いたします。恒例のジョイフルクリスマス会では我々が待ち人辻野メンの復帰と劇の脚本を手がけていただき感動的な日を皆様と共に過ごすことができました。

次年度も奈良YMCAは皆様の期待にお応えできるようその歩みを強めて参ります。ワイズの皆様ご支援、ご協力のほどよろしく申し上げます。

3月の行事予定

日/曜日	行事内容
1 土	和歌山紀の川クラブ 例会
4 火	大阪サウスクラブ 例会
5 水	大阪長野クラブ 例会
8~9 土日	西日本区次期会長・主査研修会
10 火	奈良クラブ 例会
13 木	大阪堺クラブ 例会
20 木	和歌山紀の川クラブ 例会
20 木	大阪河内クラブ 例会
27 木	大阪泉北クラブ 例会